



# 酒井夏妃さん

さかい なつき

優秀賞  
築地中学校3年

## 「ありがとう」の一言

あなたには、自分を支えてくれる人はいませんか。お母さん、お父さん、学校の先生……誰でもいいです。それでは、その人に感謝の気持ちを伝えていきますか。

「感謝を相手の心に届けること」って意外にも難しいと思うのです。「本当は思っていないけど、ただ口にする感謝」と、「心からありがたいと思って伝える感謝」は違うもののように思えます。言葉で言うことは簡単でも、心からの感謝を届けることは、なかなかできていないように感じます。私にも、そんな経験があります。

私は、中学校に入って、とても英語の授業が好きになりました。他の言語を学ぶことは、こんなにも楽しいのかということに気づき、新たな夢を見つけました。人とのコミュニケーションが好きだったこともあり、英語の先生になることを目標に、日々勉強に励むようになりました。ですが、段々自信がなくなっていき、一度諦めかけた時期がありました。他の職業について調べてみてもなかなか自分に合うように思えず、どうしようかと悩んでいました。そんなとき、私を支えてくれたのは、母でした。たくさん勉強していい成績を取ったときには褒めてくれたり、どんな勉強法がいいかを教えてくれたりしたおかげで、私はまた先生になるために努力することができています。

ですが、私はどうしても母に感謝の気持ちを伝えることができませんでした。恥ずかしい気持ちがあったからです。他の人や友達には簡単に伝えることができるのに、なぜ家族に感謝することはこん

なにも恥ずかしく、難しいのだろうと思いませんでした。母にはたくさん感謝しなければいけないことがあります。私をこまめに育ててくれたことや、毎日おいしいご飯を作ってくれたこと、塾に通わせてくれていることなど、数え切れないほどです。私が大好きな英語を学べているのも、それこそ生きていることさえも、支えてくれる家族のおかげなのです。では、どうしたら感謝を伝えられるのだろう。私は、どうにかして母に感謝の気持ちを届ける方法を二つ考えてみました。

まず一つ目は、自分から母の手伝いをしてみることで。私は感謝を「言葉」として伝えることができなかったのですが、それなら「態度」で示してみよう、と考えました。一緒に買い物に行ったり、帰りに荷物を持ってみたり、母がやっていることで大変そうなお知らせがあれば、やり方を聞いて手伝ってみたり、色々なことを試してみました。

二つ目は、普段から「ありがとう」という言葉を口に出してみることで。どんな些細なことでも、相手からの善意が伝わったら「ありがとう」と、言葉にして伝えてみました。すると、自然と相手に感謝の気持ちが伝わるようになりました。それにより、普段の生活だけでなく、部活のときや目上の人と話すときでも感謝の気持ちの大切さを実感できました。また、地域の人や友達に手伝ってもらったときに感謝を伝えると、優しく「どういたしまして。」と言ってもらえることがたくさんありました。そのような体験か

ら、感謝をすることで、その人の温かみを感じることができました。

これらの二つのことを少しずつ実行したおかげで、私は母に心からの感謝の気持ちを届けることができました。特に中学生は思春期や反抗期が重なって、なかなか「ありがとう」という言葉は伝えづらいと思います。また、中学生だけではなく、大人になっても自分から感謝を届けることは簡単なことではないと思います。それでも、少し自分できっかけを作ってみることで、感謝することの大切さや温かみを感じることができると思います。私は、身の回りの人にたくさんお世話になっていきます。だからこれからも、自分から積極的に感謝の気持ちを届けていきます。

(原文のまま掲載しています。)

